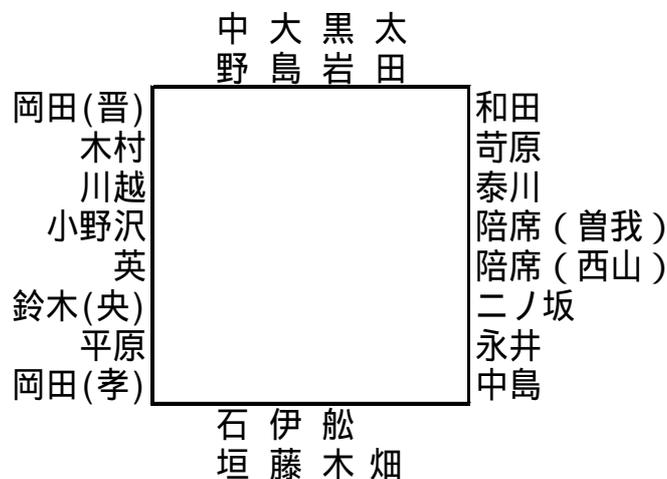


一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 平成21年度第1回社員総会 議事録

作成日：2009年6月29日

作成：事務局

席順



日時	2009年6月27日(土) 18:00 - 20:00		
場所	パシフィコ横浜 E-206 会議室		
出席者	・黒岩卓夫氏	新潟	浦佐萌気園診療所
	・太田秀樹氏	栃木	おやま城北クリニック
	・和田忠志氏	千葉	あおぞら診療所(高知潮江)
	・苛原実氏	千葉	いらはら診療所
	・中野一司氏	鹿児島	ナカノ在宅医療クリニック
	・石垣泰則氏	静岡	城西神経内科クリニック
	・伊藤光保氏	愛知	内科伊藤医院
	・岡田晋吾氏	北海道	北美原クリニック
	・岡田孝弘氏	神奈川	オカダ外科医院
	・小野沢滋氏	千葉	亀田クリニック
	・川越正平氏	千葉	あおぞら診療所(上本郷)
	・木村幸博氏	岩手	もりおか往診クリニック
	・鈴木央氏	東京	鈴木内科医院
	・永井康德氏	愛媛	たんぼぼクリニック
	・中島啓子氏	大阪	なかじま診療所
	・二ノ坂保喜氏	福岡	にのさかクリニック
	・畑恒土氏	愛知	あいち診療所
	・英裕雄氏	東京	新宿ヒロクリニック
	・平原佐斗司氏	東京	梶原診療所
	・舩木良真氏	愛知	三つ葉在宅クリニック
	・泰川恵吾氏	沖縄	ドクターゴン診療所
	・大島伸一氏	(顧問)	国立長寿医療センター
陪席	・野田広氏		国立長寿医療センター
	・伊東政彦氏		国立長寿医療センター
	・曾我氏		ドクターゴン診療所

	・西山氏 ドクターゴン診療所
議題等	<p>(1)開会 (2)挨拶 (3)報告事項 3月20日 日本医師会 研修会 一般社団 認可経緯 初年度会計報告 平成20年度決算報告 全国在宅療養支援診療所連絡会周知方法 平成21年度 顧問会計事務所・司法書士事務所との契約(承認事項) HP・MLに関して 会員登録 アドレス登録 その他 事務局事務担当 岩本紹介 月曜日～金曜日 10:00～16:00 電話対応可</p> <p>(4)討議事項 1)社員総会 細則 総会成立要件等の必要性 開催回数 年2回以上 2)副会長の定数 選出 3)組織案)事務局)調査・研究局)研究・教育局)IT・コミュニケーション局 人選 4)財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 在宅医療推進フォーラムの共催団体として 5)会員証の配布 (財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 宣言の採択) 6)HPの充実 自己紹介と本会への期待 400字程度 写真 7)世話人の活躍 実践報告 世話人主催のフォーラム 当連絡会後援・共催 8)パンフレット作成 9)21年度予算 (収入なし 最低支出 約600万円) 10)企業との関係性のあり方 協賛依頼など 11)他の職能団体との関係 積極的に</p> <p>(5)今年度活動予定 (6)その他 会員獲得活動(1人30人位の会員を) (7)平成21年度 全国在宅療養支援診療所連絡会 第2回社員総会日程調整 11月22日(案) (8)閉会</p>
議事等	<p>(1)開会18:05～ ・太田秀樹氏より、平成21年度第一回世話人会議(定款上社員総会)開会の挨拶を行った。</p> <p>(2)挨拶 ・会長黒岩卓夫氏より、在宅医療の役割の構築、また在宅医療と同時に日本全体の社会保障、医療制度を在宅医療という切り口から改善していきたい。20年後、47万人の死に場所不明のこの国において、医療制度・介護制度・司法制度の中で医師として活躍できる場である。志を持ち確立してゆこう。 ・顧問、大島伸一氏(国立長寿医療センター総長) 超高齢社会という深刻な事態において、危機意識をもち国が一丸となり、在宅医療推進会議を召集した。そこで、当連絡会の必要性が浮上し、第一回の開催に至った。お祝い気持ちを伝えたい。同時に感慨深いものがある。国立長寿医療センターは、貴会の発展を願って、今後も応援するという立場であり、これも役割の一つと考えている。</p> <p>・理事：黒岩・和田・太田 監査：苛原 事務局：太田・岩本 陪席：国立長寿医療センター 2名 ドクターゴン診療所 2名</p> <p>(3)報告事項 18:15～ 3月20日 日本医師会 研修会(和田氏より) ・医師会館にて、在宅医療に関する研修会が行われた。総論を医師会幹部が担当、老年医学を日本老</p>

年医学会が担当し、太田・和田が在宅療養支援診療所連絡会として、マインド・多職種連携を担当した。7時間中3時間。その時間内に50分の在宅医療の現場のビデオを上映し、在宅医療に対する理解を深めることができた。終了後にも反響があった。

一般社団 認可経緯 (和田氏より)

平成21年3月30日に社団法人設立。

3月30日付けで世話人はすべて社員になった旨報告された。

初年度会計報告 平成20年度決算報告(苛原氏より)

出入金なし(資料参照)と報告がされ、承認される。

全国在宅療養支援診療所連絡会周知方法

・和田氏より：全国の在宅療養支援診療所一万箇所に連絡するには、200万円程度の費用がかかる。そこで、あおぞら診療所新松戸に小児在宅医療に関するアンケートを実施するための研究費があり、あわせて当連絡会の申込書も送付する法をとれば、負担が少なく行えるのではないかと、この提案。承認される。

・太田氏より、それぞれの世話人がローカルな動きで協力を。

・英氏より：東京都23区の在宅療養支援診療所約970箇所を対象に、大阪大学の研究アンケートの発送を7月上旬に行う予定である。また、東京都23区の連絡懇親会を、11月19日に開催する。その際、当連絡会の案内・申し込み用紙などを発送できるのではないかと、この提案。承認される。

平成21年度 顧問会計事務所・司法書士事務所との契約(承認事項) (太田氏より)

太田氏の推薦の顧問会計士・司法書士事務所との契約 承認される。

HP・MLに関して(中野氏より)

MLの活用 連絡会のML：入会と同時にMLへの登録も行う。一診療所あたり、ひとつのアドレス。代理人でも可能。診療支援・協力支援・事務作業支援など実務的な支援をトライしていきたい。MLにて連絡会の活性化を図りたい。HPは太田氏準備中。

事務局事務担当

岩本紹介

月曜日～金曜日 10：00～16：00 電話対応可(直接の連絡は、結城事務所：0296-33-7794まで)

(4) 議事 18：40～

1)社員総会 細則・総会成立要件等の必要性があるか。 当面作成せず。

開催回数 年2回以上(年に一度は決算の承認が必要)

春1回と秋1回 秋の開催は11月23日の在宅医療推進フォーラムに重ねて行う予定。

2)副会長の定数 選出 空席のまま設立に至った。

理事からの推薦 日本在宅医学会から 石垣泰則氏

日本プライマリ・ケア学会から 鈴木央氏

全員異議なしで承認される。

3)組織案：)事務局 太田秀樹氏)調査・研究局 川島孝一郎氏

)研究・教育局 和田忠志氏)IT・コミュニケーション局 中野一司氏

以上承認された。

4)財団法人 在宅医療助成勇美記念財団 在宅医療推進フォーラムの共催団体として宣言を採択

5)会員証の配布：会員に対して配布が必要だが、仮作成の段階(資料3) デザイン・ロゴなど今後とも世話人から募集する。

6)HP の充実 自己紹介と本会への期待 400字程度 写真掲載 各世話人に依頼

7)世話人の活躍 実践報告 世話人主催のフォーラム 当連絡会後援・共催

8)パンフレット作成し、当連絡会を広めていく。

9)21年度予算 (収入なし 最低支出 約600万円)

10)企業との関係性のあり方 当連絡会の理念に賛同し、日本の在宅医療の発展に繋がるであろうと思われる企業とは、オープンな関係で、より良い在宅療養の環境が整うよう協力し合っていく。

	<p>11)他の職能団体との関係</p> <p>日本医師会をはじめ、日本看護協会・日本老年医学会・日本歯科医師会・日本薬剤師会・日本ケアマネジメント学会などの職能団体とは、積極的に協力関係を構築し、在宅医療の発展に尽力していく。当連絡会が在宅医療の窓口となれるよう期待されている。</p> <p>大島伸一氏より、当連絡会に対しては国からの期待も大きく全国一万余ある在宅療養支援診療所が意思を同じくして結束して意見を出すことが出来れば、政策へも反映されるであろう。国からの調査・研究依頼などもあり得る。日本の社会保障に関わる問題に対して、当連絡会が解決の道しるべを示していくことも出来るであろう。</p> <p>(5)今年度活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月23日に開催される在宅フォーラムにおける企画。 <p>昨年は、全国6ヶ所の在宅医療の紹介を行った。</p> <p>和田忠志氏より、各地の在宅療養支援診療所のネットワークの紹介を行っては、との提案有り。</p> <p>英氏より、東京都23区ではデータベースをまとめMLを立ち上げる予定。また、11月には懇親会を開催する予定である。</p> <p>その他企画の提案があれば、MLにて募集を行うこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の楽しさを伝える書籍への掲載。 ・雑誌へのリレー執筆 ex)日経ヘルスケア メディクイズ ・顧問・外部評価委員会への活動報告書の作成・送付 ・オピニオンの発信 各会員の活動など、ML・HPなどで共有 ・調査・研究の受託(公的・民間)積極的に協力していく ・日本医師会との協調 ・他の職能団体との協調(発会の報告など) ・協力企業 株式会社大塚製薬工場からの依頼 アンケート協力 e-learningのHPへの執筆など ・財団法人 日本訪問看護振興財団からの協力依頼 <p>(6)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員獲得活動 1人30人位の会員を ・黒岩卓夫氏より、在宅医療のマニュアルの編集を行っている。在宅医療に踏み切れない開業医などに動機付けになるような書籍にしたい、世話人各位に執筆依頼するので協力を。 <p>(7)平成21年度 全国在宅療養支援診療所連絡会 第2回社員総会日程調整 11月22日 18:00~20:00 東京ステーションコンファレンス 予定</p> <p>(8)閉会 (日時 平成21年6月27日 18:00~20:00 パシフィコ横浜E 206会議室) 進行役 太田秀樹</p>
資料	<p>平成21年度 第1回 全国在宅療養支援診療所連絡会 世話人会議(社員総会)議事次第</p> <p>資料:1 一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 社員名簿</p> <p>資料:2 一般社団法人 全国在宅療養支援診療所連絡会 定款</p> <p>資料:3 仮 会員証</p> <p>資料:4 平成20年度第3回全国在宅療養支援診療所連絡会世話人会議事録</p> <p>平成20年度 第一期 決算資料</p> <p>財団法人日本訪問看護振興財団 ご協力をお願い</p> <p>株式会社大塚製薬工場 「経口補水療法」アンケート結果</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・岩本 ・佐々木(医療法人財団千葉健愛会)